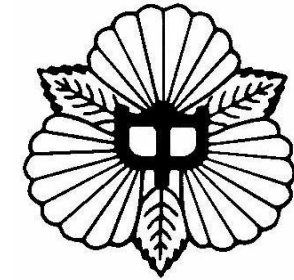


学習内容と指導方法の工夫と充実

学習環境の整備

- 教科指導の改善と充実
 - ・学習内容と到達目標の検討
 - ・指導方法の見直しと改善
 - ・保護者による授業診断・学校評価
 - ・生徒による授業評価
 - ・評価方法の改善（評価基準の見直し）
 - ・学習目標の提示と指導の提示
 - ・校内LANの授業への活用
 - ・補習等を通じた基礎学力の定着
- ICT活用の推進と言語活動の充実
 - ・全教科でICTを活用した授業を推進し生徒の学習意欲を向上させる
 - ・適正な言語活動が行えるようなOJTの活用
- 総合の時間の活用
 - ・総合の時間をより充実させるための基礎学力の補充
 - ・上級学校訪問、職場体験など進路学習との関連を深める
 - ・学力コンテストの実施
 - ・コンピューターなどでの調べ学習を深める
 - ・課題解決能力の育成

- 学習環境の向上
 - ・教室環境の美化
- 学習への姿勢と授業態度の確立
 - ・授業規律を守る姿勢
 - ・時間を守ろうとする姿勢
 - ・生活指導を含めた学習指導（あいさつ、聞く姿勢態度）
- 学習の仕方の指導
 - ・教科別の効果的な学習の仕方や学び方の工夫の指導
- 家庭学習の確立
 - ・定期的な学習課題の提示
 - ・学習計画の立案とその指導
 - ・家庭学習週間の実施
- 読書科の充実
 - ・朝読書、読書の時間の充実
 - ・図書室、学級文庫の蔵書の一層の充実と利便性の向上
 - ・各教科指導を通じての読書科を意識した指導の実践



確かな学力 基礎・基本の定着

葛西第三中学校が求める確かな学力

「基礎・基本」の確実な定着を目指し、自分で課題を見つけ、自らよく考え、自ら学び、自己実現のできる能力を「確かな学力」と考えて、次の6つの総合したものであるとする。

- 1 自分で考える力
- 2 自分で判断する力
- 3 知識や技能を身につけ、活用する力
- 4 自ら学ぼうとする意欲
- 5 自分で課題を見つけ出す力
- 6 問題を解決し、自分で道を切り開いていく力

「基礎・基本」の定着無くして、「確かな学力」定着・向上はできないと考え、基礎学力の定着と向上を主眼に置いた指導を図る。

読書科の推進

朝読書や読書の時間を通して、読書活動を推進する。また、各教科においても読書科を意識した授業を適宜展開し、読書を通じて生きていくに必要な知識・能力を育成する。

ICT活用の推進

各教科・特別活動・総合的な学習の時間でICT活用を図り、生徒の興味・関心・意欲を高めわかりやすい授業を展開する。

言語活動の充実

各教科・特別活動・総合的な学習の時間において言語活動を活かした授業内容の工夫を図る。また、教師も適正な言語を用い、生徒の言語活動の充実を図る。

地域との連携

「地域に誇れる三中」という目標のもと、地域でのボランティア活動への積極的な参加、保育園や老人施設への訪問などを通して地域との交流を深め、学ぶ場とする。